

様式 1

<p>研 究 名</p>	<p>複雑な工程を有する生産部品表の可視化に関する研究</p>
<p>民間機関等 (相手方)の名称</p>	<p>日立ハイテクソリューションズ</p>
<p>研究の概要</p>	<p>マス・カスタマイゼーションが進展すると、製品の仕様が複雑化し、生産工程も複雑となるため、工程管理の粒度や取り扱いを可視化して検討する必要性が高まる。このため、生産工程を含む生産部品表の可視化により、意図した生産が可能な部品表の設計が実現できる可能性が高まると共に、可視化した部品表から類似製品の生産情報が流用でき、生産準備の業務を軽減できる可能性が高まる。</p> <p>本研究では、部品構成表と工程表を統合した統合工程部品表 (FBOM: Fundamental Bill of Manufacturing) を用いて、生産工程を統合工程部品表の枠組みの中で可視化し、生産管理システムで有効に働く生産部品表を生成する方法を示した。提案した方法を用いて、検討対象となる製品群の生産部品表が実際に可視化できることが認められ、部品表の設計を行う関係者間において、有効な情報共有が行えることが分かった。</p>